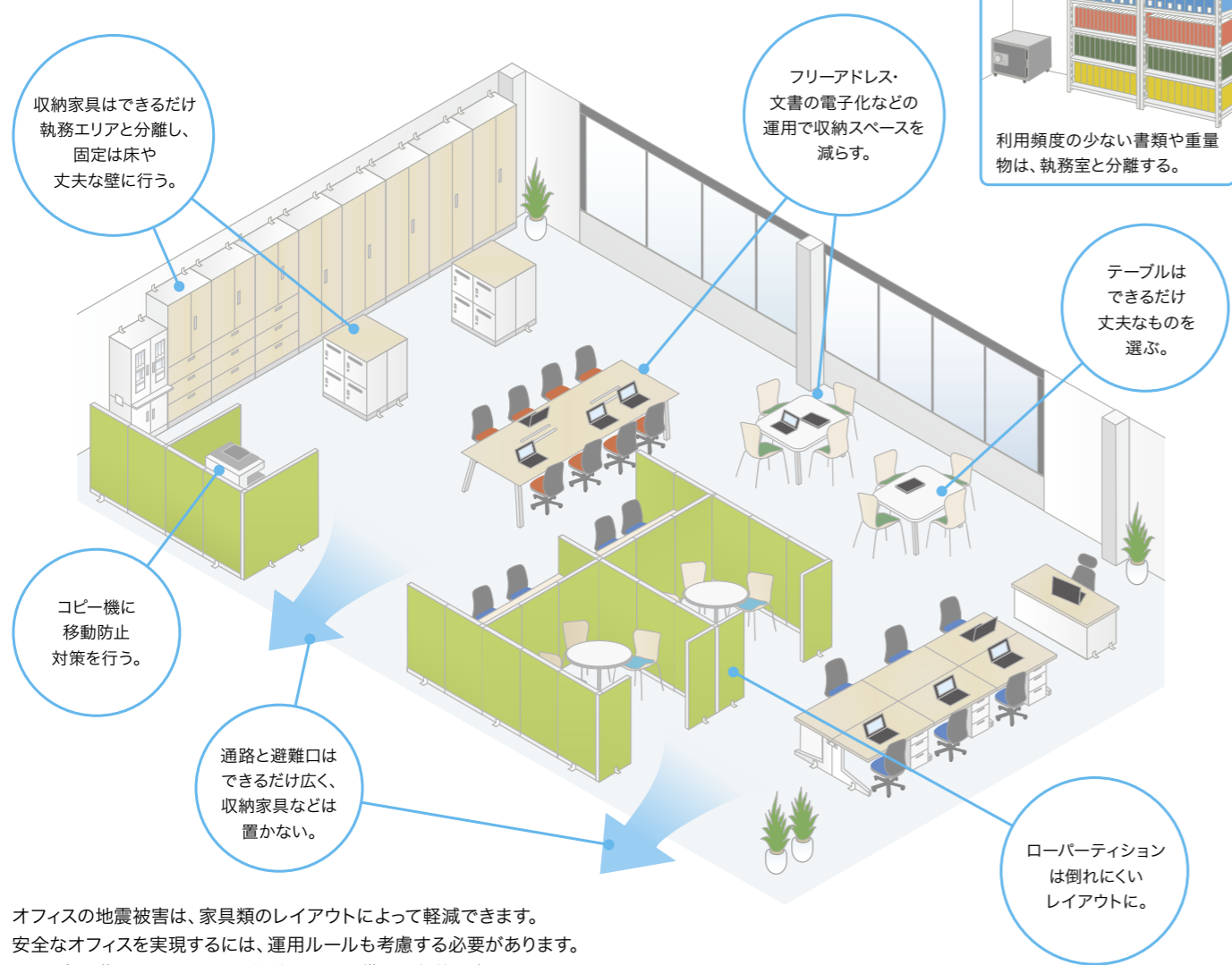


## 地震災害に強いオフィスレイアウト

JOIFA会員企業では、地震に強いオフィスづくりを目指し、オフィスプラン・デザインに取り組んでいます。オフィスの家具類の固定は地震対策において有効であることは言うまでもありませんが、災害時においても、地域への貢献・復興・BCPなどに有効なオフィスプランをご紹介します。



オフィスの地震被害は、家具類のレイアウトによって軽減できます。安全なオフィスを実現するには、運用ルールも考慮する必要があります。また、高層階のオフィスは長周期地震動にも備えた対策を考えましょう。

### 地震災害に強いオフィスプランニングのポイント

- 耐震性の高い建物を選定する。
- できるだけオフィス内は見通しを良くする。
- 通路はできるだけ広くとる。
- オフィス内(ワーカーの近く)には背の高い収納家具は置かない。
- ローパーティションはいざという時の避難所としてのプライバシー確保になる。
- 短期間の生活が可能なスペースを確保できる家具の配置。
- 一時的に救護者や帰宅困難者を受け入れ可能なロビー・会議室の計画。
- 地震の揺れによる書類などの散乱を防ぐファイリング方法。
- 転倒、移動のしにくい連結方式の家具の採用・家具同士の連結レイアウト。

ご相談は

**JOIFA** 一般社団法人 日本オフィス家具協会

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町1-12-11  
 リガーレ日本橋人形町2F  
 TEL:03-3668-5588 FAX:03-5645-2255  
<http://www.joifa.or.jp/>

2016年12月初刷 D60

JOIFA

# 地震に備えた 安全なオフィスづくり

企業の社会的責任を果たし、  
社員の安全と財産を守るために。  
あなたのオフィスは地震を想定して対策をしていますか？

首都直下地震


南海トラフ巨大地震

長周期地震動

チェック  
と  
対策

JOIFAでは東京消防庁と連携し、各会員企業に地震対策の必要性とその対策を発信しています。

詳しくは、東京消防庁ホームページをご覧ください。  
<http://www.tfd.metro.tokyo.jp/>

 家具類の転倒・  
落下・移動防止対策

## オフィスの地震対策チェック

あなたのオフィスに以下の項目にチェックが入ったら右ページの対策を参照し、すぐに実施しましょう。

### ① レイアウトのチェック

<input checked="" type="checkbox"/> オフィスの中央に背の高い家具がある。 対策案 A-2	<input checked="" type="checkbox"/> パネル、ローパーティションの組み合わせに安定性は配慮していない。 対策案 A-5	<input checked="" type="checkbox"/> ガラス窓の前に倒れやすい物を置いている。 対策案 A-7	<input checked="" type="checkbox"/> 大型金庫、コピー機などが転倒、移動しても人的被害が及ばない場所に設置していない。 対策案 A-6
<input checked="" type="checkbox"/> 避難通路の幅が1.2m以上ない。 対策案 A-3	<input checked="" type="checkbox"/> 転倒によって出入口を塞ぐような場所に家具がある。 対策案 A-1	<input checked="" type="checkbox"/> 床が滑りやすい素材である。 対策案 A-4	

### ② 家具・什器類のチェック

<input checked="" type="checkbox"/> 家具の扉や引き出しにラッチ機構が付いていない。 対策案 B-3	<input checked="" type="checkbox"/> 壁面収納家具やローパーティションなど、家具が壁や床に固定されていない。 対策案 B-1, B-5, B-6	<input checked="" type="checkbox"/> 二段重ねの家具の上下が連結されていない。 対策案 B-4, B-6	<input checked="" type="checkbox"/> 大型で安定性が悪い家具を単独で置いている。 対策案 B-4, B-6
<input checked="" type="checkbox"/> サーバーに転倒・落下防止の措置をしていない。 対策案 B-8	<input checked="" type="checkbox"/> デスク上のパソコンなどに落下防止の措置をしていない。 対策案 B-7	<input checked="" type="checkbox"/> 家具のガラス部分には飛散防止フィルムを貼っていない。 対策案 B-2	

### ③ 日常運用のチェック

<input checked="" type="checkbox"/> 背の高いロッカーや収納家具の上に物を置いている。 対策案 C-9	<input checked="" type="checkbox"/> オフィス内に発火性の高いものなどの危険物がある。 対策案 C-1	<input checked="" type="checkbox"/> 扉や引き出しは、開いている状態が多い。 対策案 C-2	<input checked="" type="checkbox"/> デスクの下に資料や私物をため込んでいる。 対策案 C-3
<input checked="" type="checkbox"/> 離席中、椅子が机やテーブルの下に入っていない。 対策案 C-10	<input checked="" type="checkbox"/> 重いものが家具の上のほうに入れられている。 対策案 C-4	<input checked="" type="checkbox"/> それぞれの家具の積載質量が守られていない。 対策案 C-5	<input checked="" type="checkbox"/> 電気ポットやコーヒーサーバーなど、液体の入ったものがパソコンや電気製品の近くにある。 対策案 C-12
<input checked="" type="checkbox"/> 防災グッズ(ヘルメット、ラジオ、懐中電灯、非常食、毛布など)の用意がない。 対策案 C-6, C-11	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な書類やデータバックアップを耐火金庫などに保管していない。 対策案 C-8	<input checked="" type="checkbox"/> 非常口の方向や避難経路が明確になっていない。 対策案 C-6	<input checked="" type="checkbox"/> 防災組織などがなく、定期的な訓練も行っていない。 対策案 C-7, C-11

## JOIFAからの対策案

オフィスの地震対策例です。できることからまずは始めましょう。

### ① レイアウトのポイント

**A-1** 避難通路に転倒・移動するような家具・什器を置かないようにしましょう。

**A-2** デスクまわりやオフィスの中央に背の高い家具を置かないようにしましょう。

**A-3** 避難通路の幅は1.2m以上確保しましょう。

### ② 収納家具のポイント

収納家具の適切な選定と、レイアウトの工夫、家具同士の連結、床、壁などへの固定によって、地震への備えをしましょう。

- B-1** 壁に固定する
- B-2** ガラスには飛散防止フィルムを貼る
- B-3** 引き出し・扉をラッチ機構付にする
- B-4** 左右・上下連結する
- B-5** 床に固定する

### ③ 日常運用のポイント

- C-1** 薬品などは、転倒防止を施した専用の保管庫に収納しましょう。
- C-2** 扉・引き出しは、使用時以外は閉めておく。ダイヤル錠などが付いたものは、より便利で安全です。
- C-3** デスクの下は、緊急避難場所。物は置かないようにしましょう。どうしても必要がある場合は、専用のデスク下収納家具に整理しましょう。
- C-4** 収納家具はバランスを保つことが必要。重い物は下に入れましょう。
- C-5** 収納家具は規定の積載質量を守り、棚などから物がはみ出さないようにしましょう。
- C-6** 防災意識を持ち、防災グッズ、非常口、避難経路などを確認しておく。
- C-7** 防災マニュアルを作成し定期的に避難訓練を実施する。
- C-8** 重要なデータはバックアップを取り、耐火金庫へ保管する。
- C-9** 収納家具は欄間を活用する。
- C-10** 離席する際は椅子を机の中に入れておく。
- C-11** 脱出や救助活動のための工具は整理・整頓、点検しておく。
- C-12** ビジネスキッチンなど専用家具で運用する。

**A-4** 床をカーペットにすると滑り止めにも有効。

**A-5** ローパーティションはコの字型、L字型、H字型など、安定したレイアウトにする。

**A-7** 窓付近に背の高い家具を置かない。  
ガラスには飛散防止フィルムを貼っておく。

**B-6** 上下・左右連結し、転倒防止対策を施す。

**B-7** パソコンなどのOA機器はベルト・ワイヤー・ゲルなどの耐震グッズで固定する。

**B-8** 金庫やコピー機など重量のあるものは固定・滑り止めを施す。  
コピー機はアジャスターを使用し、キャスターは必ずロックする。また、ベルト式器具などで、壁面に連結する。  
サーバーは転倒・落下防止の処置をとる。